

あなたの手を、世界の誰かに。

2014年7月22日



セカンドハンド通信 NO.77

公益社団法人 セカンドハンド 本部事務局 TEL&FAX 087-861-9928
〒760-0055 香川県高松市観光通1-1-18
E-mail:jimukyoku2hand@yahoo.co.jp http://2nd-hand.main.jp/



祝

設立20周年！～記念事業のご紹介～

5月27日に設立20周年を迎えました。

●孤児院招へい事業



9月10日～24日の2週間、カンボジアから10名を日本に招き、伝統楽器と舞踊を披露するほか、交流企画を用意しています。（詳細はp.4.5にてご紹介しています）
※同時期に医療支援先の医師らも研修事業で来日します。

●記念パーティー



20年、たくさんの出会いがありました。関わって下さった皆様と時間と空間を共有する「同窓会」のようなパーティーを9月14日（日）に開催予定。（詳細はp.3へ）

●プレゼントキャンペーン「寄付して抽選に参加！」



3,000円を1口とし、ご寄付いただいた方の中から抽選で来年5月末まで総計100名にプレゼントをお送りします！記名寄付者を対象として、9、11、1、3、5月に抽選し、セカンドハンドの商品券やカンボジア商品など各回20名にプレゼントを贈ります。

●20周年記念特別号



セカンドハンド通信79号（1月発行）を記念誌としてボリュームアップ＆増刷して発行！発行に合わせ20周年のメッセージを募集中。①あなたとセカンドハンドのストーリーや思い出、②あなたにとってのセカンドハンドとは、等なんでもOKです。お手紙やFAX、メールで事務局までお送りください。

●出張講演します！



セカンドハンドの活動の話を聞きたい、講演会を開きたい、という方。20周年事業として講演料無料で講師を全国に派遣しますので、ますご相談ください。

●オリジナルTシャツ



9月以降にイベントで販売。1月発行の通信でも紹介します！

●ホームページ リニューアル



昨年のパンフレットに続き、ホームページのデザインも新しくなります。

「子どもの人身取引及び児童労働防止プロジェクト」ご報告！

2013年度の教育支援の一つとして、C-Rights（特定非営利活動法人国際子ども権利センター）の事業へ資金提供を行い、5月にコミュニティセンターが完成しました。

（事業の報告はp2に掲載）

完成したコミュニティセンター



「セカンドハンド」は、ボランティアが主体となって運営する国際協力団体です。主な支援先はカンボジアで、学校建設や奨学金支援などのほか、自立・医療・孤児院支援を行っています。資金源は皆様のご寄付とチャリティーショップ（提供された品物を無報酬のボランティアスタッフが販売）。一人ひとりの力は小さくても集まれば大きな力となる」をモットーに活動しています。世界の誰かのために、あなたの力を貸してください。

商品提供やご寄付など、支援してくださった皆様へのお礼とご報告は、このニュースレターにかえさせていただきます。

子どもの人身取引及び児童労働防止プロジェクト 事業報告

2013年度の教育支援事業として行った、C-Rights（特定非営利活動法人国際子ども権利センター）の活動への支援についてご報告します。

スヴァイリエン州タナオコミュニーンでは慢性的な貧困によって、多くの子どもたちが学校に行けなくなるばかりか、人身取引や児童労働の被害にも遭い、子どもとしての権利が大きく侵害されています。そこでC-Rightsが行う本プロジェクトのうちの「コミュニティーセンター建設」と「啓発活動」の分野に対して、セカンドハンドが300万円の資金援助を行いました。

子どもたちは出稼ぎなどで一度、学校をやめてしまうと、それ以後、学ぶ機会が大きく失われてしまいます。今年4月に地域のお寺の敷地内に完成したコミュニティーセンターには、子どもたちが自由に過ごせるアクティビティルームと、本が読める図書室があります。一度学ぶ機会を失った子どもたちがここで自由に集い、みんなで一緒に学び、遊ぶことができるようになりました。

啓発活動では、地域の大人や子どもに対して、人身取引や児童労働の危険性、子どもの権利の大切さについて啓発を行うのですが、それを行うのはなんと、子どもたち自身！地元の小中学校で選ばれた

「子ども代表」たちはプロジェクトを通して、学習や話し合いを重ねてきました。こうして得た知識と理解をもとに、寸劇や紙芝居を通して、人身取引や児童労働をやめさせる啓発活動を展開しています。

コミュニティーセンターが完成し、子ども代表らの活動がはじまったことで、これからますます子どもたちの学びや、地域の人々への理解が広がっていきそうです。



紙芝居で啓発活動を行う子ども代表 ©C-Rights

20周年記念事業第1弾！

5月24日（土）、セカンドハンド設立20周年の記念事業第1弾として、10周年でも協力して下さったヴァイオリニストのアテフ・ハリム氏を迎へ、チャリティーコンサートを開催しました。会場であるサンポートホール高松（小ホール定員312名）には220名がご来場下さいました。

アテフ氏のあたたかく優しい演奏に、「やわらかな音色が素敵でした」「まるで歌っているかの様な演奏」「心がきれいになりました」となどの感想をいただきました。今回の収益金は約120万円。20周年事業のひとつ、ホームランド孤児院の子どもたちを日本に招く事業に充てさせていただきます。

演奏で協力して下さったアーティスト、A&A art、ご協賛、後援の企業の皆様、広報やチケット販売、当日にご尽力くださった皆様、ありがとうございました。

チャリティーコンサート



コンサートの前に公益社団法人セカンドハンドの総会を行い、昨年度の事業および決算についてご報告し、今年度の事業計画についてご説明しました。これからも皆様の思いや力を活かし、よりよい社会に向けて活動する場として地道に活動して参りますので、引き続きよろしくお願いします。



会社が近くにあったので、セカンドハンドが誕生した頃より楽しめてもらっています。（レジで支援先を選ぶとき）今は医療支援にお願いしていますが、購入した物が役に立って学校などが建つなんてとても素晴らしい。これからも頑張って下さい。

谷本 朱美（お客様）

20周年記念事業 記念パーティー開催のご案内

1994年5月、南新町で3ヵ月間のつもりで始めたチャリティーショップからはじまり、20年。様々な出会いと、多くの支えをいただきながら活動を続けてきました。

この節目に、セカンドハンドを育て、ともに歩んでいただいた皆様への恩返しの意味も込めて、9月14日に記念パーティーを開催させていただきます。イメージは同窓会。普段なかなか会えない皆さんと楽しい時間を過ごしたいと考えています。

また、このパーティーに合わせてカンボジアから孤児院の子どもたちを招いているほか、研修で来日するスヴァイリエンの医師らも参加しますので、ぜひ彼らにも会いにきてください。（孤児院の子どもたちには伝統舞踊＆演奏を披露してもらう予定です）

できるだけ多くの皆様と一緒に祝いできたらうれしいです。ご参加お待ちしています。

セカンドハンド設立 20周年記念パーティー

【日 時】 9月14日（日）
18時00分～20時30分（予定）
【場 所】 高松国際ホテル 新館2階 濑戸の間
住所：香川県高松市木太町2191-1
電話：087-831-1511
【会 費】
5,000円
(学生料金などはお問い合わせください)
【お申込み・お問い合わせ】
セカンドハンド事務局
電話：087-861-9928
※ウェブサイトにも記載しています



セカンドハンド・ユースがお届けする 奨学生のご紹介！ ～第三回～

私たちセカンドハンド・ユースは、イベントや募金活動などを行なながら、その収益でカンボジアのセンソック地域の経済的な理由で学校に通えない状況にある高校生10人を奨学生制度で支援しています。

昨年の夏休み、ユースのメンバーがカンボジアで奨学生と会い、ホームステイをさせていただきました。今回もその時の感想をお届けします。

私は、昨年の8月にLun Povnovormchisa（17歳）の家にホームステイしました。私は彼女をChisa（チサ）と呼んでいました。父・母・兄3人・祖母の7人家族。お父さんが工場へ働きに行き、お母さんが家で小さな食堂をしたりマーケットへ働きに行ったりして生計を立てています。Chisaは地域のセンターで、会計と子供たちに英語を教えるボランティアをしています。英語がとても上手で、将来の夢は通訳になることと話してくれました。家事の手伝いや、英語での作文を顔色一つ変えずこなす彼女の第一印象は「クールな女の子」でした。しかし、話していくうちに友達から頼られる存在で、勉強を人一倍頑張り、朝が苦手、なにより笑顔がとてもすてきな女の子だとわかりました。持ってはいないけれどギターが好きで、好きな曲は「You raise me up」。壁に貼った歌詞を見ながら「この曲を聴くと落ち着いた気分になれる」と話してくれた姿が印象的でした。

お父さんのお給料が月に100ドル（約1万円）と教えてくれ、私たちの支援にとても感謝

しているとも話してくれました。勉強を頑張る姿を見て、私たちの支援は彼女にとって経済的な意味以上に彼女の支えになっているように思え、改めて必要なのだと感じました。私自身、彼女を支える一員として、気が引き締まる思いがしました。（文：海野 瞳）



チサさん（右）と二人で

孤児院で暮らす子どもたちがやってくる

9月10日～24日までカンボジアの孤児院から代表者と子どもたちが来日します。今号の特集では、そのメンバーを紹介します。

ホームランド孤児院とは

ストリートチルドレン、人身売買や虐待に遭った子ども、エイズ孤児など、様々な境遇の3歳～18歳の子どもたち（現在約50名）を保護しています。親代わりのスタッフのもと、学校に通ったり、伝統音楽を学んだりしながら、自立し、再び被害に遭うことがない様に訓練を受けます。セカンドハンドは2002年から施設の建設やフォスター・アレント制度での支援を続けています。



今回の招へいの目的

児童労働、人身売買、貧困などカンボジアが抱える問題は深刻です。これはカンボジアだけの問題ではありません。交流を通して私たちが容易に想像出来ない現実に目を向け、私たちに何が出来るかを考え、孤児院への支援の輪を広げることを目的としています。

〈子どもたちのプロフィール〉 ①得意な事 ②将来の夢 ③好きな事 ④来日で不安な事

リー・ソパリープ（女） 13歳



①学校の宿題 ②薬剤師
③ダンスと歌う事
④飛行機に乗るのがはじめてなので心配

転々と路上生活をしながら物乞いをしていた家族で、リーも生後1か月になる前から物乞いをさせられていた。酒びたりの父親から母娘が毎日暴力を受けていたが、両親はリーを置いてタイへ行ってしまった。近所の人々が面倒を見てくれていたが、女性と子どもの保護委員会によって保護され、2001年10月から孤児院で生活している。

ブッ・ソパラ（男） 14歳



①他の子にコンピューターの使い方を教えること
②スポーツ選手 ③サッカー
④伝統舞踊の披露がうまくできるかが不安

4人兄弟の末っ子。両親が亡くなり、叔母に引き取られた。学校は1年生まで通ったが、毎日ではなかった。重労働する兄姉を思い、よく一人で泣いていたが、自分も学校から戻ると牛に草を食べさせるため遠くまで行く毎日。常に食べるものがなく、とても貧しかったため、叔母は食料や生活用品を買うために農地を売った。その頃、近所の人々がホームランドに連絡を取り、2009年1月から孤児院で暮らすことになった。

マオ・ラン Mao Langさん（孤児院の設立者）

【来日にあたり心配なことは？】
子どもたちが体調を崩さないか、天候が心配。

【設立のきっかけは？】

ICMC（国際カトリック移民委員会）がバタンバン州で帰還難民に対し職業訓練を行っていたセンターで私は「子どものケア」部門で孤児を預かっていました。1996年、ICMCはこの活動の撤退を決めました。10月30日夕方、ICMCの車で17人の孤児とともに市内から18km離れたホームレスや未亡人の保護施設に移送されました。

モア・スレイ・リーク（女） 14歳



①孤児院の友だちを助ける事
②英語の先生 ③スポーツ
④食事と言葉

6人兄弟の3番目。路上で生活をしながら、5歳まで両親と一緒に物乞いをして暮らしていたが、彼女の兄弟や母親は毎日のように酒に酔った父親から暴力を受けていた。父親は刑務所に入り、母親は一人で子どもを育てきれず、女性と子どもの保護委員会により保護され、2006年10月からホームランド孤児院で暮らしている。

チョン・スレイ・ピアップ（女） 19歳



①友達と経験を共有すること
②（旅行者向け）ガイド
③本（物語）を読むこと ④日本の気候

4人兄妹の末っ子。父親は死亡。母親が働いていたが収入が低く、少しでも高い収入を得るために子どもを親戚に預け、タイに出て稼ぎに出た。兄姉も働き、彼女もキャッサバ畑で球根を集めて切り分け、乾燥させて販売していた。その収入は2,000～4,000リエル（50～100円）ほどで、それで米は買えた。兄姉の出稼ぎを機に叔父に預けらることになったが、叔父も不在が多いため心配し、叔父がホームランドに連絡し、2008年10月に入所。

リーム・ボレイ（男） 13歳



①伝統舞踊で、猿の役をすること
②クメール語の先生 ③サッカー
④飛行機と日本の文化

2人兄弟の長男。小さい頃から5歳になるまで物乞いをしながら路上で生活していた。父親は毎日酔っては母親や幼い兄弟に暴力をふるっていた。父親が刑務所に入れられ、母親が一人で子育てをするのが大変になつたため、女性と子どもの保護委員会が彼を保護し、2006年10月からホームランド孤児院で住んでいる。

ヴァン・フィンファ（女） 13歳（2012年～）



①家事 ②看護師 ③スポーツとダンス
④旅行すること自体が不安

末っ子（兄弟数不明）。小学6年まで両親と暮らし、学校に通っていた。母親が亡くなり、父親が遠くに出稼ぎに出てしまい、お金がなく、食べ物も買えずに栄養失調状態だった。その状況を深刻に考えた村の長がホームランドに連絡を取り、村長が申請して孤児院で暮らすことになった。

フック・モム（女） 18歳



①ダンスを教える事 ②クメール語の先生
③ダンスと世界を旅すること
④旅行そのものと食事

3人兄弟の末っ子。父親は農家、母親は死亡。貧しさのため、母親が彼女をブローカーに売り、タイで物乞いや花売りをしていたので学校には行っていない。タイでは悪い人に監視され、10人の子と共同生活をしていた。夕方4時～朝4時まで働き稼いだお金はブローカーに取られた。稼ぎが悪いと、食べるものも与えられなかった。警察に捕まり、タイの刑務所に入った彼女は、保護機関を通じて2001年8月から孤児院で暮らしている。

ヴァン・タブ（男） 18歳



①伝統音楽の演奏 ②料理人
③料理 ④文化の違いと言葉

3人兄弟の末っ子。両親は仕事がなく、日雇いでその日暮らしをしていた。あまりにも貧しかったので、彼は1年生で退学し、タイに出て稼ぎに行つたが、人身売買、労働搾取の被害にあった。悪人たちは彼に重労働を強いて支払いをしなかつたのである。彼はタイ当局に捕まり、ボイコットに送られた後、2005年1月にホームランド孤児院にやってきた。

リー・ソティア Ly Sotheaさん（代表の娘、ホームランドのスタッフ）

【来日で楽しみにしていることは？】
日本の皆さんとの絆を深めること。カンボジアの子どもたちのことを知ってもらい、里親として支援して下さる方が増えること。

【設立のきっかけは？】

た。洪水で施設は水浸し。食べるものもなく、不安で泣く子どもたちと夜は一緒に過ごし、朝になるとバタンバン市内に行き、子どもたちのために物乞いのように寄付を募る生活を3か月続けました。1997年1月1日、小さな家を借り、2人の女性も手伝ってくれて拠点ができました。運営の資金は手当たり次第、国際団体に協力をお願いしましたが獲得できず、泣く毎日でした。1997年9月、ようやくワールドビジョンとユニセフから資金をいただき、組織として活動を始めました。

マオ・ラン Mao Langさん（孤児院の設立者）

【来日で楽しみにしていることは？】
日本の皆さんとの絆を深めること。カンボジアの子どもたちのことを知ってもらい、里親として支援して下さる方が増えること。

【設立のきっかけは？】

た。洪水で施設は水浸し。食べるものもなく、不安で泣く子どもたちと夜は一緒に過ごし、朝になるとバタンバン市内に行き、子どもたちのために物乞いのように寄付を募る生活を3か月続けました。1997年1月1日、小さな家を借り、2人の女性も手伝ってくれて拠点ができました。運営の資金は手当たり次第、国際団体に協力をお願いしましたが獲得できず、泣く毎日でした。1997年9月、ようやくワールドビジョンとユニセフから資金をいただき、組織として活動を始めました。

フォスター・アレント募集

子どもの生活費や孤児院の運営資金になります。

月に①3,000円、②5,000円
・子どもからのレポート、年2回
・孤児院の年間報告書
・子どもに手紙やプレゼントを送る交流も可活動へのご寄付も大歓迎。

第10弾!!

「どんな人達がボランティアしているの~?」 ~自宅が県外でもOK!印刷ボランティア編~

皆さんの自宅に郵送されるセカンドハンド通信。住所の印字を擔ってくれているのが、
実は県外のこのお二人!毎回丁寧、かつ正確な仕事ぶりに助けられています。



高倉 恒三さん

(埼玉県在住)

(平成12年に当時の川口支部と出会ったのがきっかけ。現在は、趣味の陶芸で作ったマグカップのご提供、フォスターペアレントとして常に応援いただいているます)

30年勤めたパソコンの販売会社を退職し、子ども達も成人したので、社会に恩返しをしたいと思い、月1回のペースで川口支部での販売のお手伝いやバザーなどの搬出作業に参加していました。支部が活動休止し、引き続き本部のお手伝いをとの話があり、パソコンの知識を活用し、データ化や印刷作業をするようになりました。これからも出来る事はお手伝いしていきたいと思っています。

後藤 裕さん

(福岡県在住)

(娘さんが事務局職員となったことがきっかけで、娘さん退職後も家族みんなでセカンドハンドの応援をしてくださっています)

娘に「手伝ってくれる?」と言われ、出来る事で関わりはじめて10年以上。セカンドハンドは設立した新田さんはじめ、みなさん情のある方がたくさんいて、人がいいですね。シバナさん(自立支援で連携するラチャナ代表)が自宅に来たのも思い出。セカンドハンドは人間味のある、日本人らしいやり方で国際協力をしているのが魅力。これからも頑張ってほしいです。



カンボジア支援につながる フェアトレード商品 『巾着(タイコットン)』

バッグの小分けなどに便利!
浴衣にも合いそうです。

¥800 (商品番号1007)

色:暖色・寒色etc
サイズ:縦・約22.5cm×約18cm



●販売協力イベント情報

日 時	内 容	場 所
毎月第2日曜日10時~14時	しらひげブチマルシェ	しらひげショッピングセンター中庭(墨田区)

■この商品は

メールかお電話、FAXにてご注文いただけます。

E-mail: artisan0303@gmail.com

FAX : 087-861-9928 (セカンドハンド本部)

※郵送をご希望の場合は、別途500円が必要となります。
但し、合計1万円以上お買い上げの場合は送料無料です。

[代金振込先(郵便振替口座)]

口座番号: 01650-3-45129

加入者名: (有)ARTISAN

郵便局の窓口にある払取扱票をご利用ください。



商品の販売協力をしてくださっている方々(敬称略)

天勝(丸亀)、永井敬子、和カフェぐう

SPECIAL THANKS <敬称略> ❤️ ❤️

4/1~6/30までの3ヵ月間にご寄付などで協力くださった方々です。ここには掲載しきれない、その他に様々な形でご協力くださった皆様もありがとうございます。【店舗・倉庫】株式会社マルナカ(丸亀店)、西川(福岡店)、(株)セシール(春日町)【セカンドハンド通信発送】後藤家、高倉恒三、その他たくさんの方々【寄付】香川/井上貴美子、井上優子、入江治子、岡野一郎、加藤博子、喜多和也、清國祐二、木村大三郎、久保智枝、倉岡獎学会、さぬき丸一製麺、渋谷光子、清水勉、高田久、武内トキミ、谷武士、田万幸子、鳥かい歯科医院、沼田章、のぞみ総合法律事務所、蓮井孝夫、マイケル・ベドロー、松原志乃、三木美千代、三原主幹、宮井康文、三宅洋三、山田美智子、横田千春、吉田正強、若杉淳子、愛媛/青野千恵子、西原かをり、大阪/風間徹也、岡山/池田和子、田中里栄、福島康子、神奈川/長山喜代子、京都/須谷和子、高知/吉本房子、埼玉/高倉恒三、千葉/谷和晃、東京/(株)アイティエスエス、シエリン公子、塚田泰代、綿引淳、徳島/粟飯原治仁、木村清志、広島/谷森裕子、福岡/湯浅法子、北海道/白川ふみ、升崎里美、三輪加奈、三重/酒井恵津子【その他】大阪パイロットクラブ、岡山利廣、香川マツダ、梶田バレエ団、コスモ商事(株)、佐川急便(株)、(株)損保ジャパン、林田物流(株)、YOU俱乐部【セカンドハンド通信作成】(株)アイコ一印刷



よく20年続き、さらに活動の輪が広がっていますね、ずっと応援しています。自分にとってセカンドハンドは日常の中のひとつの活動、同じ目的を持った心優しい方に出会える場所。里親として支援してきたブッティー君との交流は感動的な思い出です。ゆるぎない精神と行動が20年を作りあげたまさに奇跡です。これからも大切にしていきましょう。

横田ご夫妻(丸亀店ボランティア&フォスターペアレント)



各地でひろがるセカンドハンドの輪

片原町店

【世界の子どもたちの現状を知ろう】

夏休みに親子で世界の子どもの現状を学べる企画として、1階で展示、2階で子供用品の販売を行います。自由研究の題材にもなります。

2階では子供服やベビー用品、雑貨、文具が買えます。ここでの売上は、カンボジアの孤児院の運営費支援に充てます。

子どもフェア&展示@片原町店

8月1日（金）～8月31日（日）

※フェアは毎週金・土曜日に開催期間中のボランティア募集！

セカンドハンド関東

4/20りょうごく青空市ヤッチャバに初出店。国技館で開催されるイベントによって青空市のお客さんも違い、今回は小物を中心にお土産として売れました。毎月出店しているひきふねではマルチポーチが使いやすいとリピーターを呼んでいます。



茨城では水戸芸術館の
フリマに出店！
(上野)

出店予定

8月2日（土）ひきふね青空市ヤッチャバ @曳舟駅前
9月6日（土）ひきふね青空市ヤッチャバ @曳舟駅前
9月7日（日）りょうごく青空市ヤッチャバ @両国駅前

セカンドハンド福岡

先日たくさんの衣料品の提供をしてくださった団体をご紹介。

家庭の事情などで進学できない子に学習機会の提供や、貧困や親の不在で食事がとれない子どもに食事の提供、居場所がない子に居場所の提供をする国内の青少年の支援団体「ストリート・プロジェクト」。カンボジアの孤児院の子どもの背景と重なります。共に福岡市内で活動する仲間とのつながりを持つていくことも楽しめます。

セカンドハンドは今私の形作っている原点と言えます。セカンドハンドを知らなければここまでボランティア活動に対して積極的になれなかつたと思います。

大学生の頃、スタディーツアーでカンボジアに行き、日本では絶対に見る事が出来ないような景色や人々の暮らしを知って視野が広がりました。世界中の人々が、「ともに生きている」事を知りました。これからも、微力ながらお手伝いできればと思っています。

丸亀店

5月に実施した“ありがとうフェア”は、買うと三角くじが引ける企画。人気の当たりは“肩たたき！”

「面白い」「楽しい！」「もっと」、なかには「もういいです（笑）」との感想で、私たちも楽しめました。

8月半ばからは、夏物衣類の半額セール！セカンドハンドは全店、消費税を店側が負担する形でお客様に徴収していないので、その分お得感ありますよ！

セカンドハンド京都

4/27、上賀茂神社手作り市に出店しました。カンボジアの現状や活動に興味を持って下さる人がたくさんいました。もっと出店の場を広げたい、京都でしかできないことをしたい！と思案中。仲間が増えれば可能なことも増えます。ぜひセカンドハンド京都と一緒に活動しましょう。



出店予定

9月23日（祝） 京都市役所前フリーマーケット出店

セカンドハンド・ユース

第7回国際協力ステージを開催！

～カンボジアへの奨学金支援にご協力を！～

国際協力ステージは、好きなことや得意なことで出演することで国際協力に参加できるチャリティーアイベントです。私たちは昨年度から支援学生を3名増やし、高校生10名、大学生1名の合計11人を支援しており、今回の収益金も奨学金支援に充てます。目標額は30万円。今年は駐車場数、座席数もこれまでより多い国分寺ホールに移し、バージョンアップ。出演者・実行委員募集中！お気軽にご連絡ください。

e-mail: secondhand_youth@yahoo.co.jp

日 ち：11月29日（土）※詳細はHPで！

場 所：高松国分寺ホール

矢田 尚子（セカンドハンド・ユースOG）



information

Second hand Official Supporter:SOS会員募集

SOS会員はセカンドハンドのファンクラブのようなもの。ファンとして活動を支えてください！お申し込みは同封の払込用紙のご利用もしくは定額自動引き落としもご利用いただけます。お名前、ご住所を事務局までお知らせいただければ、所定の申込用紙を郵送いたします。(セカンドハンドのウェブサイトからもダウンロードできます)

	月々	1年一括
個人	一口 1,000円	一口 12,000円
法人	一口 2,000円	一口 24,000円
学生		3,000円

- ◆皆様への手数料等のご負担はありません。
- ◆会費は寄付金控除の対象となります。
- ◆特典：報告書などの無料送付
カンボジア商品の割引購入
主催コンサート時の優待席確保
カンボジア視察渡航に実費のみで参加可能 ほか

ボランティアスタッフ募集中！

お店番、倉庫作業、運搬、どこも人手が不足しています。それぞれのペースで参加できます。活動に参加してみませんか？

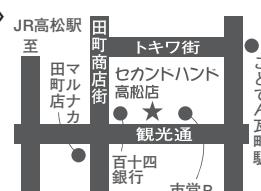
セカンドハンドイベント&ボランティア情報

日 程	内 容	場 所
8月 1日(金)～31日(日)	子どもフェア&展示 ※フェアは毎週金・土曜日に開催	セカンドハンド片原町店
8月28日(木)	チャリティービアパーティー	セカンドハンド本部屋上
8月30日(土)	スヴァイリエン州保健局・ロタ局長による「カンボジアの救急医療について」報告会	高松市男女共同参画センター
9月 9日(火)、10日(水)	カンボジアでの救急医療支援事業について紹介展示	高松市役所1階ロビー
9月12日(金)～21日(日)	孤児院の子どもたちによる伝統舞踊と演奏披露＆チャリティーバザー	JR高松駅
9月14日(日)	セカンドハンド設立20周年記念パーティー	高松国際ホテル
9月21日(日)	かがわ国際フェスタ出店	アイバル香川
10月18日(土)、19日(日)	セカンドハンド通信78号発送作業	セカンドハンド本部・丸亀店

月々の会計報告書はセカンドハンド店頭に掲示しています。

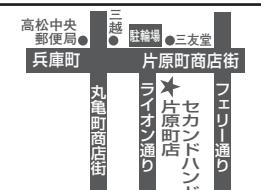
本部・高松店

■セカンドハンド本部(3F)
■高松店(1F)
TEL:60-0055
高松市観光通1-1-18
TEL:087-861-9928
営業時間：
月～金 10時～18時
土 11時～15時
日・祝日は定休日



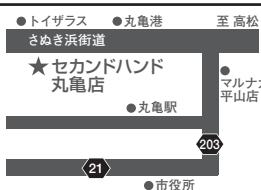
片原町店

TEL:760-0040
高松市片原町9-1
TEL:087-822-3552
営業時間：
月～金 10時～18時
土・日・祝日 10時～17時



丸亀店

TEL:763-0063
丸亀市新浜町1-803-2
マルナカパワーシティ丸亀店内
TEL:0877-25-2876
営業時間：
毎日 9時30分～19時



商品提供の受付

夏物衣類:8月下旬まで

秋物衣類:8月中旬から

※季節を問わない物に関しては常時受付可

【送り先】〒761-0101 高松市春日町1586-1

セシール春日物流センター内 セカンドハンド

(※平日必着。持込は受け付け不可)

【持込先】セカンドハンド高松店

セカンドハンド事務局職員募集

セカンドハンド本部事務局では、国内外の支援業務、チャリティーショップに係る業務、法人事務など多くの業務があります。これら業務を行う職員を募集します。詳しくはウェブサイトをご覧ください。

募集中！

・お中元で余ったビールやビール券

セカンドハンド主催のチャリティーイベントなどで使

用させていただきます。

・A3サイズ裏紙

ミスコピー等、捨ててしまう紙があればご提供ください。(コート紙、光沢紙を除く)

●ボランティア募集●

お店番、仕分け作業、事務、イベント運営、チャリティーショップやセカンドハンドの運営を支えてください。

☆このニュースレターは3ヶ月に一度5500部発行しています。封筒作り、発送作業等をボランティアで行い、約4800部を全国の支援者へ無料で発送しています。
購読ご希望の方は、ハガキ、FAX、メールなどでお申し込みください。